

地域研究委員会・環境学委員会・地球惑星科学委員会合同
地球環境変化の人的側面 (HD) 分科会 (第24期・第11回)
議事要旨

1. 日時：令和2年6月5日（金）13時00分～15時00分
2. 会場：ビデオ会議にて開催
3. 出席者：氷見山幸夫（委員長）、阿部健一、石川義孝、岡本耕平、近藤昭彦、櫻井武司、
篠田雅人、春山成子、山口しのぶ、吉田謙太郎、亀山康子
（欠席：城山英明、中村桂子、山田高敬）
4. 資料： 出版物目次案
5. 議題
 - (1) HD に関する国際的・国内的動向について
COVID-19の各界への影響と対応について情報共有を行った。
 - ・政府の非常事態宣言下大学は基本的に閉鎖状態にあり、大半の大学ではオンライン講義に移行している。
 - ・大学や研究所での研究活動は施設の閉鎖等により大きく制約されている。
 - ・大学によっては COVID-19後の大学を構想する委員会が活動を始めている。
 - ・UNESCO、生物多様性条約 COP15、気候変動枠組条約 COP26、UN 関連などの国際的な会議や集会はすべて延期あるいはオンライン。IGUは今春にイスタンブールで開催予定だった役員会をオンラインに変更。
 - ・学術会議でも委員会や集会が平常通り開けない状態が続いているが、オンラインでの開催はできるようになった。
 - ・ISC分科会に入ってくる海外からの要請の中で COVID-19下での教育に関する提言の話があり日本から1名推薦。
 - (2) 出版計画について
 - ・前回の議論では単行本についても検討したが、「学術の動向」大特集を出す方向で作業を進めていくことになった。
 - ・来年の2月号への掲載を目指し、次回編集委員会（7月下旬開催）に特集の計画書を出す。
 - ・10本程度の論文が目安。COVID-19を踏まえてこれまでのIHDPに関する活動を再検討し、新しい学術として発信する必要があるのではないか、時間をかけていると陳腐化していくので即時性が求められる、といった意見が出された。それらを踏まえ、来週金曜日（6月12日）までに各自の執筆するテーマをメールで共有し、計画書を取りまとめていくことになった。

- (3) JpGU-AGU Joint Meeting 2020 の HD セッション ”Enhancing Integrated Research for Sustainable Future - a human geoscience perspective” について
- ・今年 5 月の JpGU-AGU 合同大会は COVID-19 のため 7 月にオンラインで開催することになった。HD セッションは 7 月 13 日の枠。
- (4) 今後の活動について
- ・可能であれば今期中（今年 9 月まで）にあと 1 回分科会を開催することとした。
- (5) その他
- 特になし。